

## 南部駒踊（切田）



|       |   |
|-------|---|
| 指定区分  | 市指定文化財  |
| 種別    | 市無形文化財  |
| 名称    | 南部駒踊（切田）  |
| 所在地   | 十和田市大字切田  |
| 保護団体  | 南部駒踊上館保存会   |
| 指定年月日 | 平成 7 年 3 月 22 日   |
| 概要    | <p>上館の南部駒踊は、上館・古安鹿・谷地・泥ノ木集落の踊り手によって伝承されている。1867（慶応 3）年、上館で馬の伝染病が蔓延した際に、隣村の万内駒踊組を招き、集落西方にある氏神の馬頭観音に平癒の祈願をしたところ、流行が治まったことに感謝して始められたといわれている。</p> <p>1962（昭和 37）年に一時中断したが、1969（昭和 44）年に女性たちが女駒踊を興し、1972（昭和 47）年に本来の男性による芸能として復活した。</p> <p>この芸能は、出陣から行軍、戦場での騎馬戦、凱旋の様子を舞踊で表現したものといわれている。駒踊の構成は「庭入り」「直り駒」「引き返し駒」「進み駒」「休み駒」「横ばね駒」「三方荒神」「乗り違い」「まわし駒」「庭引き」の順序で踊られる。また駒踊の他に「七ツ道具」や「へいそく舞」が伝えられている。9月の切田八幡神社の祭礼時に奉納される。</p> |